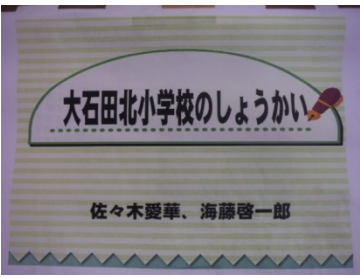



学年	5・6年	教科	生活単元	単元名	にこにこ交流会で発表しよう
学校名	大石田町立大石田北小学校			実践者	有江 慎
本時の学習活動	にこにこ交流会で発表する資料を作成する。				
ICT活用のねらい	【1 教員による活用】		【2 児童生徒による活用】		
2-3	1-1 興味関心を高める	1-2 課題を明確につかませる	1-3 思考や理解を深める	1-4 知識の定着を図る	2-1 情報を収集・選択する 2-2 文や図表にまとめる 2-3 発表したり表現したりする 2-4 知識や技能の習熟を図る
活用する機器・ソフト・コンテンツ等	PC, PC ソフト(ジャストスマイル)				
学習形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習	<input type="checkbox"/> グループ学習	<input checked="" type="checkbox"/> 個別学習		
活用の場面・方法	<input type="checkbox"/> 導入の場面	<input type="checkbox"/> 展開の場面	<input checked="" type="checkbox"/> まとめの場面		
	<ul style="list-style-type: none"> ・町の特別支援学級の交流会で、それぞれの学校で自由に発表することになった。児童に何について発表したいか確認したところ、自分の学校の紹介をしたいという意見が出された。また、日頃使っているパソコンでまとめたいという願いがあったので、ジャストスマイルの「発表名人」を使い、調べたことをまとめ発表することになった。 				
活用のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャストスマイルの「発表名人」を使うことで、いろいろな字形を使ったり、写真や飾りを使ったりと自分達で工夫してまとめることができることに大変意欲を持ってやっていた。興味関心を持って学習できるとともに、パソコンの基本的な操作の仕方も覚えることができる部分が児童にとって有効であると感じた。 				
児童生徒の学びの様子	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを使うことができるということで、意欲的に学習に取り組んだ。また、ワークシートの絵柄や字形なども自由に選ぶことができることにも興味を示していた。写真を取り込んで自由に貼り付けできることも驚いていた。手書きでまとめることも大事だが、パソコンを通して、いろいろな操作を覚えることができたことも子ども達にとって、有意義学習になった。発表する場所は、自分の学校ではなかったため、作ったものを拡大コピーして貼り合わせ発表練習を行った。自分たちで作ったものに満足し、生き生きと練習している様子が見られた。本番ではパソコンで作ったことを多くの先生から褒めていただき、大きな声ではきはきと発表する様子が見られた。 				
活用の様子(写真)					
実践を通して感じたこと	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は使いこなせるか不安だったが、日頃インターネット等でパソコンに慣れているので、使い方や少し教えただけでどんどん自分たちで操作を覚え作ることができた。やはりいろいろなことに挑戦させることで、力がついていくことが分かった。今回は会場が自分の学校でなかったため、プロジェクターは使わなかったが、今後機会があるときは、プロジェクターで映し自分たちでパソコンを操作させることも体験させたいと思った。また、ローマ字打ちをすることで、ローマ字も同時に覚えることができたことも成果であった。 ・パソコンで作ったことが本人達の自信になり、交流会本番では、大きな声ではきはきと発表することができた。このこともパソコンを使った効果だと考える。プレゼンテーションソフトは自分の思いを表現できる1つの方法として身につけていく必要性を感じた。 				